

## 2022年度生用

### 健康科学部

#### I. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

健康科学部は、次の 3 つに分類される能力を修得した者に学位を授与します。

1. 乳幼児から高齢者に至る各ライフステージにおける「こころ」と「からだ」、さらにはその相互作用に関する基礎知識を、客観的かつ論理的に記述・説明する思考力、判断力、及び表現力。
2. 「こころ」と「からだ」の働きに関して科学的に数量化して分析する技能とその分析を通じて得られた結果を活用する創造力及び実践力。
3. 主体性を持って問題を発見し、多様な価値観を持つ他者と共感的な人間関係を構築しながら問題の解決に当たる協働性。

#### II. 教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

健康科学部は、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラム・ポリシーを次の通りとします。

##### 1. 基礎から発展へ

乳幼児から高齢者に至る各ライフステージにおける「こころ」と「からだ」の「健康」に関する知識を円滑に修得するために、初年次の基礎科目から高学年次の発展的な科目へと段階的に配置し、卒業年次には学士課程における学修成果の集大成となる科目を配置します。

##### 2. 座学から実践へ

「こころ」と「からだ」に関して科学的に数量化して分析する技能と、その分析を通じて得られた結果を活用する思考力及び創造力を涵養するために、低学年次には講義を中心とした座学と基礎的な実習によって基本的知識・技能を教授する科目を配置し、高学年次にはその実践的活用を目指す演習及び実験・実習の科目を配置します。

##### 3. 他律から自律へ

主体性を持って問題を発見し、多様な価値観を持つ他者と共感的な人間関係を構築しながら問題解決に当たる協働性を涵養するために、低学年次の受動的な学修を出発点としつつも、他者との協働作業や議論、プレゼンテーションを踏まえながら自律的に学修できる科目を高学年次に配置します。

## 心理学科

### I. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

心理学科は、次の 3 つの能力・態度を修得した者に学位を授与します。

1. 科学的心理学の知見・方法・理論の歴史的展開と現状を自ら調べ考えることによって、人間の「こころ」の働きについて学術論文として客観的かつ論理的に記述できる。
2. 人間の「こころ」と行動を科学的に数量化し統計的に分析する能力、並びに得られた結果に関する他者との議論を通じて、「健康」問題に代表される日常の身近な課題に対して適切な探究方法を考案し、自律的に解決できる。
3. 人間の「こころ」と行動に関する基礎知識を元に、自他共に信頼し、他者の言葉に耳を傾け、他者の行動に関心を持って共感的な人間関係を構築し、協働して問題解決に当たることができる。

### II. 教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

心理学科は、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラム・ポリシーを次の通りとします。

1. 科学的心理学の知見・方法・理論の歴史的展開と現状に関する基礎的知識を体系的に教授する科目を、主専攻科目の《健康科学部総合科目》、《専門基礎科目》、及び《専門標準科目》に配置します。
2. 人間の「こころ」と行動を科学的に数量化する方法、及び得られたデータを統計的に分析する技術を教授する科目を、《健康科学部総合科目》及び《専門基礎科目》に配置します。
3. 人間の「こころ」と行動に関する基礎知識を元に、「健康」問題に代表される日常の身近な課題に対して適切な探究方法を考案し、他者と共感的な人間関係を構築しながら自律的に解決する能力を涵養する科目を、《専門発展科目》に配置します。

## 健康栄養学科

### I. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

健康栄養学科は、次の 3 つの能力・態度を修得した者に学位を授与します。

1. 栄養学を核とした保健・医療・福祉・食品・心理に関する学際的な領域において、管理栄養士として必要な「からだ」の健康と栄養に関する高度な専門知識と技能を有し、客観的かつ論理的な思考に基づき、実践的な場においてそれらを発揮できる。
2. 「からだ」の健康に関する地域の課題を認識し、それらを自律的に解決し、地域の人々の健康の回復・保持・増進に貢献できる。
3. 食生活に関する自己管理能力を持ち、自身が望ましい食習慣を形成すると共に、「からだ」の健康と栄養の専門家として、他者の行動に関心を持って共感的な人間関係を構築し、協働して問題解決に当たることができる。

### II. 教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

健康栄養学科は、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラム・ポリシーを次の通りとします。

1. 栄養学を核とし、保健、医療、福祉、食品、心理と関連する学際的な領域において、「からだ」の健康と栄養に関する高度な専門知識と技能を体系的に教授する科目を、主専攻科目の《健康科学部総合科目》、《専門基礎分野》、及び《専門分野》に配置します。
2. 「からだ」の健康と栄養について、学際的・科学的にアプローチするための理論と方法を教授する科目を《健康科学部総合科目》に、管理栄養士として必要とされる基礎知識と技術を涵養する科目を《専門基礎分野》に、管理栄養士としての確かな実践力並びに他者と共感的な人間関係を構築しながら自律的に問題解決に当たる協働性を涵養する科目を《専門分野》に配置します。
3. 地域社会の実践的な場において必要とされる発展的な知識を教授すると共に、地域の人々の健康回復・保持・増進に貢献できる力を涵養する科目を《専門発展分野》及び《ゼミナール》に配置します。